

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で333,200cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で400cells/ml確認されました。

ヘテロシグマ・アカシオは鳴無、中学校前(北)、目ノクソ、光松、大鹿の観測点で被害が想定される細胞密度になっています。

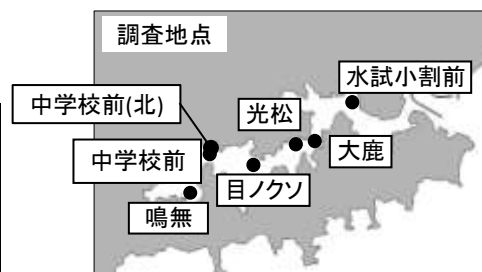
カレニア・ミキモトイは中学校前(北)と大鹿の観測点で被害が想定される細胞密度になっています。

餌止めを行うなど、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		ヘテロシグマ・アカシオ	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	珪藻類
中学校前	0m	8,350	90	0	3,400
	2m	1,110	140	0	550
	透明度:2.4m	300	70	0	200
目ノクソ	0m	13,600	260	0	1,600
	2m	2,550	90	0	200
	透明度:2.0m	450	200	0	70
光松	0m	18,800	160	0	4,500
	2m	8,500	110	0	400
	透明度:1.0m	700	50	0	400
大鹿	0m	51,600	330	0	2,700
	2m	6,500	130	0	400
	透明度:0.9m	900	20	0	300
水試小割前	0m	7,900	100	0	250
	2m	5,100	50	0	250
	透明度:2.5m	880	20	0	50
鳴無	0m	333,200	210	0	
	2m	42,900	60	0	
	透明度:1.0m	1,300	100	0	
中学校前(北)	0m	28,400	400	0	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・カレニア・ミキモトイ:
数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10~100cells/ml(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>